

旧三菱第 2 ドックハウス

この 2 階建ての建物は三菱長崎造船所での修理中の船の船員のための宿泊寮として使われていた。1896 年に第二ドライドックの隣に建てられていた。

長崎造船所の前身である長崎製鉄所は、オランダの技術者の協力で 1857 年に設立され、1868 年に明治政府に引き渡された。1884 年に三菱会社は造船所を借り、造船業を急速に拡大した。1887 年、三菱商事はスコットランド人実業家として成功し、グラバー・ガーデンと名付けられたトーマス・グラバー(1838~1911 年)の協力を得て、この造船所を購入した。グラバーは、三菱の創業者・岩崎弥太郎(1835~1885 年)の死後に経営を引き継いだ、弟の岩崎弥之助(1851~1908 年)と生涯の友人だった。

湾の反対側にある工業用建物の一部は、三菱が最初にリースを取得したときに建設された。三菱が所有するジャイアント・カンチレバークレーンと第 3 号ドライドックは、2015 年に明治産業革命遺産に指定された。

第 2 ドックハウスは、19 世紀の終わりに日本で作られた西洋風の建物の典型だ。広々とした天井の高い部屋や 2 階のベランダ、石炭用の暖炉、大きな窓がある。1972 年に現在のグラバー園に移された。

採用番号 NO :	023-012
-----------	---------